

i 学校教育目標

「心豊かで、主体的に行動できる生徒の育成」

ii 重点目標

- ・確かな学力の育成
- ・思いやる心の育成
- ・健康・体力の向上

iii めざす生徒像、教師像、学校像

○生徒像

共に学び共に育つ生徒
礼儀正しく思いやりのある生徒
心身共に健康で、たくましい生徒

○教師像

共に学び共に成長する教師
思いやりあふれる教師
心身共に健康な教師

○学校像

活力ある美しい学校
安全・安心な学校
信頼され、期待される学校

iv 指導の重点

1. 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善による確かな学力の育成

- ① 基礎・基本の定着と学ぶことの楽しさを実感できる授業づくりに努める。
- ② 思考力・判断力・表現力を育成するために、自らの考えを記述し、話し合う協働的な学び場を設定した授業づくりに努める。
- ③ 「見通しと振り返り」「自力解決」「学び合い」等、『甲府スタイル』の授業を実践する。
- ④ 1人1台端末等の ICT 機器を、授業の場面に応じて効果的に活用した授業づくりに努める。
- ⑤ 自主学習ノートの取組を通して、家庭学習の習慣化を図る。
- ⑥ 生徒の学力及び学習の状況を全教職員で把握し、確かな学力の育成に向けた授業づくりに努める。

2. 生きる力と思い遣る心を育む生徒支援の充実

- ① 道徳科の趣旨を踏まえた授業づくりに努める。
- ② JRCの態度目標である「気づき、考え、実行する」のもと、合唱・応援・演劇等の継承と自発的・自治的な生徒会活動の推進を支援する。
- ③ 集団活動を通して、認め合い高め合う学級集団づくりに努める。
- ④ あいさつ運動、朝読書、美化活動等の充実を図り、活力ある美しい学校を目指す。
- ⑤ 「あゆみノート」等を活用した生徒理解を心がけ、いじめや不登校の未然防止を図ると共に、早期発見・早期対応に努める。
- ⑥ SNS やインターネットの危険性、誤った使い方により人を傷つける危険性について理解させる。
- ⑦ 保護者の考えを十分考慮すると共に、生徒の希望や適性に応じたきめ細かな進路指導に努める。

3. 自他を尊重し、命を大切に健康・安全教育の充実

- ① 基本的な生活習慣の確立と生涯を通じて健康で安全な生活を送る実践力を育てる。
- ② 進んで運動や部活動に取り組み、健康な体づくりと体力の向上に努めるよう働きかける。
- ③ ユニバーサルデザインに立脚したインクルーシブ教育の推進に努める。
- ④ 実践的な防災訓練を計画的に実施すると共に、安全教育を充実させ危険回避能力を高める指導をする。
- ⑤ 「人権教育」「SOS の出し方に関する教育」「自殺予防教育」についての学習を推進する。

4. 「生きる力」を育む教育課程の編成と実施

- ① 教師と生徒、生徒相互のより良い人間関係を育てる基礎となる、学級・学年集団づくりに努める。
- ② 職業調べや職業講話、職場体験学習を通してキャリア教育の充実をはかる。
- ③ 特別な支援を必要とする生徒の特性に応じた教育課程を編成・実施し、個に応じた指導と評価に努める。
- ④ 教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間の確保と、行事の計画的実施による調和とバランスのとれた学校運営を行う。
- ⑤ 地域や学校の実態、生徒の心身の発達段階や特性などを考慮し、PDCAサイクルの評価による成果と課題を踏まえた社会に開かれた教育課程の編成と実施を行う。

5. 家庭・地域・学区内小学校・関係機関と連携し、信頼され、期待される学校づくりに取り組む

- ① 保護者や地域との連携を深め、コミュニティ・スクール実施に向けた取り組みを進める。
- ② 学校・学年・学級通信やHP等を活用し、積極的な情報発信と学校開放を行う。
- ③ 小中合同研究会など南中学区小学校との連携をすすめ、円滑な接続と共通課題の解決を図る。